

藤白台留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和４年度）

1 育成室の概要

(1) 児童数・教室数（令和５年３月１日時点）

児童数 156 人（うち配慮を要する児童 6 人）						教室数
内訳	1 年	2 年	3 年	4 年	5・6 年	5 教室
	53 人	45 人	35 人	22 人	1 人	

(2) 受託事業者

社会福祉法人淳風会・社会福祉法人燦愛会共同事業体

（契約期間：令和３年４月～令和８年３月）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	3
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	3
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を高い水準で履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に大きく貢献している。
- ②保護者アンケートでは、多くの項目で肯定的な回答が90%を超えている。特に「子どもは、育成室に行くのは楽しいと言っている。」「指導員は、児童をよく理解している。」の設問で、「そう思う・少しそう思う」の回答を合わせて約97%と非常に高い割合である。
- ③保育内容について、児童自身の主体性を伸ばすことを目的に、定期的な意見交換の場（Go-to トーク向上委員会）を開催し、児童自ら取り組みたいことを主体的に話し合う場を設けている。また、働くことの疑似体験として、お手伝いを通して独自通貨を得る「フレンズワーク」という取組についても、事業者独自の取組として工夫されている。
- ④実施状況報告書からは、独自で研修を多く実施しており、職員の資質向上に努めていることが読み取れる。